



仙台・宮城の地で、“あったらいいな”をカタチにしています

仙台小林製薬は、小林製薬グループの主力工場のひとつで、東日本最大の生産拠点です。1993年の設立以来、日用品分野、医薬品分野を中心に、暮らしに「快」をお届けする多彩な製品を生産しています。

仙台小林製薬の最大の特徴は「技術力」です。多品種の製品を大量生産する技術。製品の信頼性・安全性を高める技術。さらには生産の効率化やコストダウンにつながる技術革新にたえずチャレンジしています。

宮城県には、交通網や生産関連インフラが充実している工業団地が多数あります。当社が立地する「仙台北部中核工業団地」は東北の中核都市である仙台市にも近く、多くの優秀な人材が集まりやすい環境が魅力であり、当社においても、東北各地から優れた人材が集い、たがいに切磋琢磨しています。また「CO2を発生させない電力」の使用

など、環境に深く配慮しながらものづくりの進化に取り組んでいます。そして、2024年中には、アンメルツブランドを筆頭としたOTC医薬品を世界各国に向けて製造・出荷するための重要拠点となる新工場が竣工予定です。

仙台・宮城の地から「あったらいいな」の製品を日本全国に、そして世界へ。これからも私たちは、たゆまぬ努力を続けてまいります。

宮城県をはじめ、大和町及び周辺地域の皆様には、常日頃からたくさんのご支援をいただいております。今後ともよろしくお願いたします。



▲弊社主力商品「液体ブルーレット」



東北エリアに新たな食の文化を創造します！

スギ製菓東北工場は2017年10月に塩釜市の水産加工団地に立地し、三陸産を中心としたたこ、かき、わかめなどの海産物を主原料に使用した海鮮せんべい等の製造、販売を行っています。当社は経営理念に「楽しさの創造」～全国の家庭に美味しさと楽しさを提供し続ける会社を目指す～を掲げており、OEM事業や、観光土産店、スーパー、SAを主な販売先とした卸売りと、自社店舗では「美味しさと楽しさのテーマパーク」をコンセプトに海鮮せんべいの販売や海鮮パーベキュー事業を展開しています。

宮城県への立地を決めた最大の理由は、もともと使用していた主原料は宮城県の沿岸部から仕入れをしていました。海の幸豊富な三陸ブランドの原料調達拠点到近いことで、より新鮮で、安定的に仕入れをすることが可能になったことや、BCPの一環として代替工場としての機能、加えて、行政の手厚い優遇制度や、親切で温

かく強力なサポート体制が整えられている点も立地を決めた理由の一つです。

今後も「美味しさや楽しさ」にこだわったモノづくり、人づくりを通して、東北エリアに海鮮せんべいという新たな食文化を作り上げ、地域と共に成長し、地域に必要とされる事業活動を行っていきます。

